

**【総務省「地域情報化大賞2015」総務大臣賞】  
水産業におけるリソース・シェアリング（情報と資源の共有）  
（公立はこだて未来大学マリンIT・ラボ【北海道函館市】）**

**○取組前の状況**

課題：沿岸漁業の厳しい現状↘  
 ・漁業者の高齢化、後継者不足  
 ・海洋環境の変化、水産資源の減少  
 ・燃油の高騰、魚価の低迷  
 →競争的な漁業、勘と経験の専有  
 （変化に弱い）

**○取組の概要**

解決：沿岸漁業の明るい未来↗  
 ・IT漁業による技術継承、後継者育成  
 ・IT漁業による生産管理、資源管理  
 ・IT漁業による効率化、高付加価値化  
 →協調的な漁業 情報と資源の共有（変化に強い）  
 <IT漁業>  
 ・ICTの役割：水産資源と海洋環境を見える化すること  
 ・漁業者の役割：持続的な沿岸漁業に取り組むこと

**取組の成果**

「勘」と「経験」と「情報」による持続可能な沿岸漁業を実現！  
 <うみのレントゲン>  
 ・なまこ資源のV字回復（1.6倍）、1.4億円のなまこ貯蓄  
 ・漁業協同組合など全国の30団体（計158隻）に技術移転  
 <うみのアメダス>  
 ・従来の海洋観測ブイの10分の1の価格、50分の1のランニングコスト  
 ・延べ326基のユビキタスブイによる全国沿岸の水温観測網を構築



**漁船漁業のための「うみのレントゲン」**  
 ※ICTを活用した資源管理システムで水産資源を見える化



**養殖業のための「うみのアメダス」**  
 ※ICTを活用した海洋観測システムで海洋環境を見える化